



# Empathy(共感力)

校訓：進取・創造・雄飛

発行 令和7年12月25日  
那覇市立鏡原中学校  
学校だより8号

## 「修学旅行」

校長 望月雄紀

本校では12月15(月)～17日(水)2泊3日で関西地方(奈良県・京都府・大阪府)への修学旅行を実施しました。以下は団長の上原亮輔教頭の旅行記です。



鏡原中学校の修学旅行は、12月15日から17日の3日間、奈良・京都・大阪を巡る充実した行程となりました。全日程を通して好天に恵まれ、生徒たちは笑顔で旅を満喫し、班や学級での絆を深めました。

初日は奈良公園や東大寺大仏殿を訪問。世界最大級の木造建築を間近で触れたり、鹿にエサをあげて興奮したりと、貴重な経験をすることができました。法隆寺をはじめ現存する世界最古の木造建築群は圧巻の一言で、日本の歴史の奥深さを実感しました。

二日目は京都市内で班別自主研修。地下鉄や市バスを駆使し、各班が計画したコースを巡りました。清水寺や金閣寺など、歴史と文化に触れる体験を通じて仲間との絆も深まりました。どの班も事故やケガなく、おおむね予定通り巡ることができたようです。バス運転手さんによると、オーバーツーリズムも少し落ち着いた様子とのこと。また夜は、全体レクリエーション大会で大いに盛り上がり、そのあとは、夜の見回りが不要なほど、みんな心地よい疲れで爆睡。安心して一日を終えることができました。



最終日は大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパンへ。映画の世界に飛び込んだような非日常体験に、生徒たちは時間を忘れて楽しんでいました。ここでも人だかりは思ったより少なく、比較的スムーズにアトラクションや買い物を楽しめた様子でした。バスに戻る時間になって雨が降り出しましたが、そのときにはみんなお土産袋を抱えていて、楽しかった様子がうかがえました。

三日間を通して、生徒たちは、支えてくれる人々への感謝を忘れないこと、また時間を守って行動するなど責任と自覚をもって集団行動に臨むことの意味を理解し、最終日には行動や意識に大きな変容と成長が見られたのがとても印象的でした。帰路

の飛行機では疲れた顔にも充実感が表れていました。歴史・文化・友情を存分に味わい、心に残る修学旅行となりました。

保護者の皆様には、送迎をはじめ荷物準備などさまざまにご協力いただき深く感謝申し上げます。

## 英語スペリングコンテスト

11月22日(土)に第12回学校対抗英語SPELLING CONTESTが、かでな文化センターで開催されました。このコンテストは、一般社団法人沖縄の英語教育を考える会が主催で、出題者からの英単語のスペルを聞いて早押しで正確に単語を発音することを競う大会でした。13校31チームが参加し、北は国頭地区から名護中学校、南は島尻地区の佐敷中学校、そして沖縄尚学高等学校附属中学校や沖縄アミークスインターナショナル中学校などが出場していました。中学1, 2, 3年生の3人で1チームを編成するチーム対抗戦で、本校からは3チーム9名の生徒がエントリーしました。メンバーは、チームあん：上原 ひなた、木村 衣吹、喜屋武 帝甫・チームばん：秦 暖佳、山根彩里花、平良慶太・チームまん：嶺井みく、高良 煌、山本 大貴(敬称略)でした。3チーム合わせて「チームあんばんまん」。2チームが準決勝に進み1チームは敗者復活戦に臨むなど奮闘し、発音賞を受賞しました。生徒からは、「とても楽しかった」「とても貴重な経験になりました」などの感想がありました。

## お礼

今年度も残すところ6日となりました。みなさんにとって2025年はどんな年だったのでしょうか？社会的には熊の被害や米の高騰など不安な出来事もたくさんありましたが、本校では大きな事件事故も無く年末を迎えられたことに安堵しています。これも保護者、地域のご協力があったことと思います。感謝申し上げます。

今後、3年生は進路WEB説明会、三者面談を終えいよいよ受験モード全開、2年生は無事に修学旅行を終え義務教育最終学年へ向けての準備、1年生は後輩を迎える準備となります。地道な積み上げがあるので、来年も飛躍の年となると確信しています。良い年をお迎えください。